

## Football Match

東京工業大学 桑野二郎

9月24日(火)の夜には、恒例となっているサッカー大会が行われた。恒例ではあるが、筆者は今回が初めての参加であった。実は前々回シンガポール大会では、会議をサボっている内にいつの間にか試合が終わってしまい参加できなかったのが、今回は集合場所と時間を十分に確認した。火曜日のセッション終了後、6時15分集合のところ6時過ぎには集合場所の会議場玄関へ行った。会長のCazzuffiをはじめとするイタリア勢やブラジル勢、その他諸々、普通だったら集まりの悪そうな連中まで、遊びになるとなぜかきちんと時間通りに集合していた。ところがバスが来ない。30分待っても全然来る気配がない。Informationで再度掲示を確認すると、見たことないピラが貼ってあり、フランス語で「集合時間が30分遅くなった」と書いてあるらしい。「全くもうこっちにも知らせろよな」と思いさらに待つが、バスはまだ来ない。辛抱強く待っていたが、さすがに忍耐が切れそうな約1時間遅れでようやくバスが来た。やれやれと思いつつ、応援の井澤君とバスに乗り込んだ。しかしここからがまた長かった。やっとバスが走り出したと思ったら、やがてものすごい渋滞に巻き込まれ、延々とのろのろ運転が続いた。一体どうなっているんだとウンザリしていたら、道端に白いものが見える。まさか！いや実はまさかの雪だった。反対車線の対向車の上にも雪が積もっていた。数km海岸から入ったかもしれないが、9月の南仏ニースで雪とは信じがたいことであった。どうも記録的なことだったらしく、翌日の新聞で大見出しになっていた。さらには運転手が道に迷うなど、そんなこんなで、グラウンドに着いたのは10時近かったように思う。猛烈に腹は減るし、もうウンザリしてどうにでもなれという気分であった。

さてグラウンドは地元のプロ？クラブのものらしく、照明付の人工芝グラウンドで、クラブハウスもしっかりしていた。さすがに軽食が出て、腹が一杯になったら元気も出てきた。食事をしながら、Cazzuffiが参加者をラテン対アングロサクソンにチーム分けをした。私はアジアからの唯一の参加であったが、ポーランドでのEuroGeo2000に続きラテンチームであった。その時に一緒にやった連中が結構多く、気楽な気分でやる事が出来た。サッカー自体は予想通り楽しい草サッカーという感じであったので、私は中盤でチームのバランスを取ることを心がけた。パスを出したり、左からのセンタリングを右足アウトサイドでダイレクトシュートしたり(ジャストミートで惜しかった!)、それなりに楽しめた。試合後は、クラブハウスでピザをつまみに、ビールやシャンパンを飲み、大いに盛り上がった。2006年の会議では、シャンパンはともかくビールは出すと約束してしまった。良いグラウンドとアルコールがあれば皆ハッピーで、懇親も大いに深まった。ホテルに戻ったのは、結局12時を回っていた。サッカーは楽しかったが、今回はとにかくくたびれた。



優勝したラテンチーム(前列右端筆者。会議HPより)